青少年のための科学の祭典 茨城大会

2月26日(土)、27日(日)の二日間に亘って、「青少年のための科学の祭典」がわくわく科学館と大洗町体験活動交流センターを会場に開催されました。

参加者は、会場に設置された数多くのブースで工作や実験をとおして、科学の楽しさを体験していました。

いーものができました

農産物の安定した出荷を目指し、加工品開発を検討してきたＪＡ水戸大洗そ菜生産連合会が大洗町の農産物の特産品、「紅あずま」を原料とした芋焼酎を試作しました。

常圧単式蒸留法という昔ながらの製法で、丹念に醸した原酒をじっくりと甕で貯蔵し、すっきりまろやかに仕上がりました。地産地消の特産品として7月に販売予定です。

遊具を兼ねたモニュメントを設置

社会奉仕を通じて様々な活動を展開している大洗ライオンズクラブが、創立40周年記念事業の一環として彫刻家浅賀正治氏による石の彫刻を寄贈、2月19日にわくわく科学館広場でモニュメント除幕式が開催されました。

海の生き物の彫刻を並べたモニュメントは「磯遊び」がテーマ。子どもたちの遊具としても利用できるようになっています。

志（こころざし）をはぐくむために

1月28日（金）、教育委員の唐笠　實さんから大洗町立第一中学校と大洗町立南中学校に橋本酒仙さん作の『磯浜望洋楼に登りて』の書が寄贈されました。

夜登百尺海湾楼　　夜登る百尺海湾の楼
極目何辺是米州　　極目何れの辺か是れ米州
慨然忽発遠征志　　慨然忽ち発す遠征の志
月白東洋万里秋　　月は白し東洋万里の秋

この漢詩は、明治6年夏、大洗に遊んだ三島中洲が詠んだもので、昭和9年には大洗磯前神社近くのゆかりの地に詩碑も建てられています。

わが家のアイドル

なかやま　みく
中山　未来ちゃん
（明神町10区　2歳5ヶ月）
お父さん　**功**　　お母さん　**夕子**
「明るく元気に育ってね」

ふなくし　はやて　あずま
船串　颯くん・**雷**くん
（前原3区　3歳11ヶ月・11ヶ月）
お父さん　**竜二**　　お母さん　**愛子**
「やんちゃな兄弟ですが私達の宝です」

大洗の四季フォトコンテスト佳作

「浜昼顔」　**根本　昭一**さん

「日本丸来航」　**大久保　正隆**さん

なんでも博士のサイエンスコラム

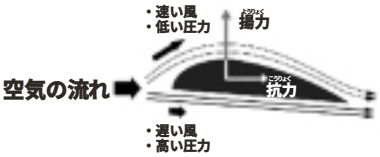
今回は「**飛行機はなぜ飛ぶのか**」について説明しよう。

人を何百人も乗せ、そして金属でできた飛行機がなぜ空を飛ぶことができるのか考えたことはあるかな？みなさんもよく知っているジャンボジェット機の重さは約350トンあるんじゃ。それがどうして飛ぶのかを解説しよう。

まず、熱気球や飛行船がどうして飛んでいるのかは分かっているかな。熱気球は丸い風船のような袋の中に、温めて軽くした空気をためて浮いているんじゃ。

そして飛行船も同じようにヘリウムなど空気より軽い気体を積んで浮いているんじゃ。しかし、飛行機はこれとはちょっと違うんじゃ。図をもとに説明しよう。この図は飛行機の翼の断面の形を示したもので、下が平らで上の方が丸くなっているんじゃ。このような形をした飛行機の翼が、プロペラやジェットエンジンの力で前に進んで風を受けると、翼の下面に比べて上面の方が空気の流れが速くなるんじゃ。すると空気の流れが速い上面の方が下面よりも空気の圧力が低くなるんじゃ。この翼の上下にできた圧力の差によって、揚力という上に持ち上げる力が発生するんじゃな。この持ち上げる力、揚力が飛行機の重さより大きくなったときに初めて浮き上がるんじゃ。ジャンボジェット機のように重い飛行機では滑走路から飛び立つのに、新幹線なみの時速300キロメートルものスピードを出しているんじゃ。重い機体であるほどスピードを出して揚力を大きくしているんじゃな。だから軽飛行機はプロペラの推進力でも浮くことができるが、ジャンボジェット機は大きなエンジンを積んでスピードを出しているんじゃ。

それではまた次回のコラムでお会いしよう。



飛行機が浮き上がる原理

○入館無料　○開館時間　10:00～16:30
○毎週月曜休館（月曜日が祝日の場合はその翌日）
大洗町港中央12番地　☎267－8989
ＵＲＬ http://www.jnc.go.jp/xwakuwaku/

大洗わくわく科学館

おおあらい俳壇 ●後藤亀泉選

沈丁の咲きしと風の伝へをり
髭釜　川崎　京子

［評］風に乗って懐かしい匂が漂ってきた。ア、あそこの沈丁花がやっと花開いたのだナ、と気付いたのである。悲運の宰相菅原道真公の「東風(こち)吹かば匂おこせよ梅の花　主なしとて春な忘れそ」の名歌を思い起こさせる句だ。

冴ゆる夜のずしりと軋む太柱
永町　鈴木　芳子

［評］しんしんと底冷えのする寒夜、一人炬燵で句を錬って居ると、突然大黒柱が軋んで音を立てたのに驚かされた。それはずしりと腹の底に響く不気味な音であった。

大洗甚句の小石春渚
髭釜　岸根世司子

［評］肌に棘々しかった潮風もようやく暖かくなった渚。春潮に今洗はれた許りの小砂利が日に輝いて美しい。ざくざくと踏み乍ら、ふと大洗甚句の「私に逢いたけりゃ／大洗下の／小砂利を紙に…」と名文句が浮んできて思わず口ずさんでいるのである。

風邪声に心残りし娘の電話
桜道　真田　靜子

［評］電話線を伝ってくる吾が娘の声が、風邪声なのに気付いた。電話を切った後もそれが気懸りで心が騒ぐのである。

学童の裾ひるがへす風の春
蔵前　田山　佳風

［評］下校中の生徒達のスカートが、時折風に翻るのを見て、あ、やっと春が来てくれたかと思ったのだ。春は風の季節、春一番や涅槃西風(ねはんにし)、或は黄塵と、名のある風が吹くのである。

緩やかに川の流る、寒さかな
成田　藤沼　美則

［評］見たまま、感じたままを簡潔な文字にして五七五とした。読後何やら心に残るもののある句である。

「さよならは言わない」歌ひ卒業す
永町　浅見三千子

隊伍組むごとくものの芽揃ひ立ち
角一　鈴木　さた

合格と声高らかに初電話
金沢　猿田　俊子

日当りしとき春潮の色見えし
夏海　大貫千代子

大いなる夕日に染まり山笑ふ
新町　岸和田和子

体調もほどほどにして寒明けぬ
明神町　小松崎美代

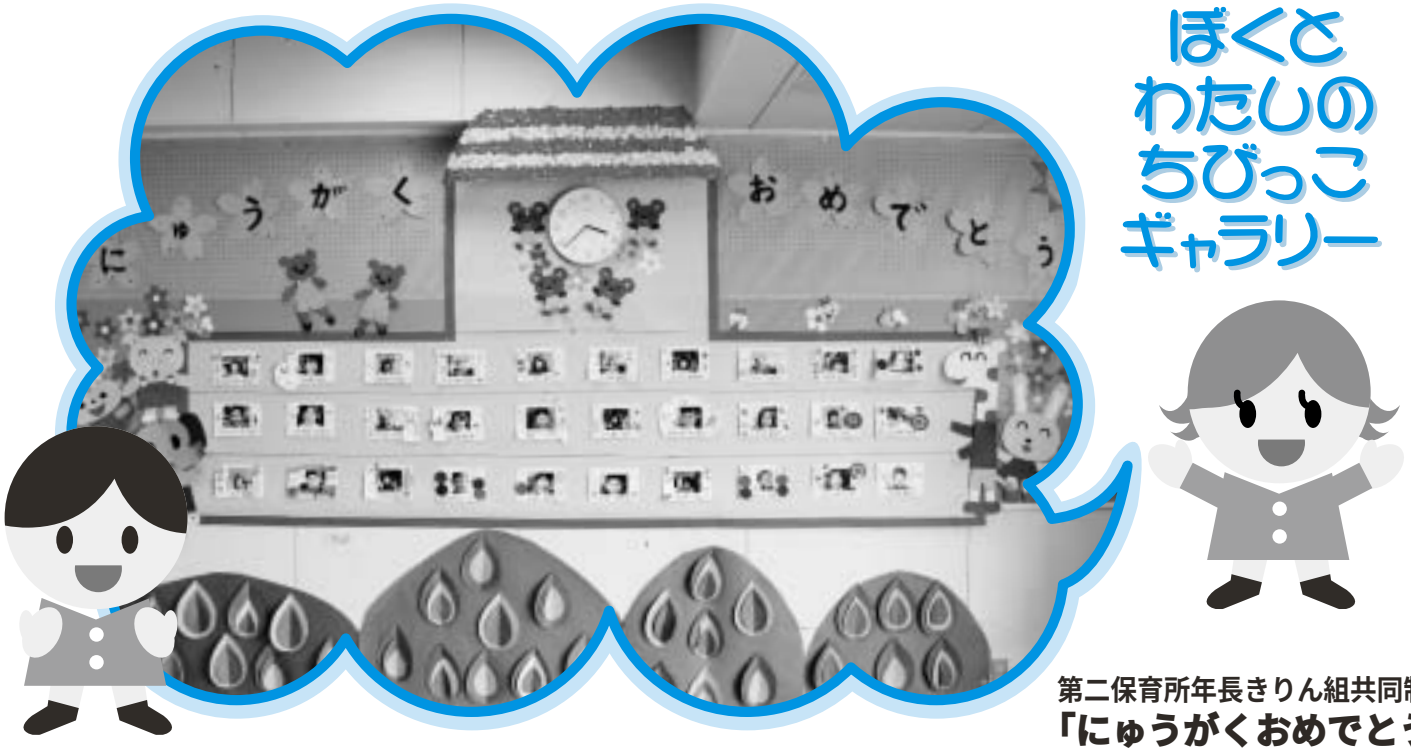
少年の足裏赤き寒稽古
新町　木ノ本和江

寒夕焼にわかに波のしずまりぬ
新町　酒井　省三

群がりて海草(うみぐさ)泳ぐ春の海
東光台　田中　勝枝

節分の豆の当りし足の裏
髭釜　清水拡一朗

選者吟
降りしきる雨に向って木の芽立つ



ぼくとわたしのちびっこギャラリー

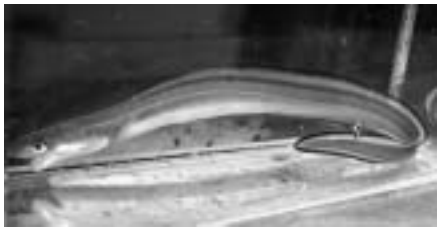
第二保育所年長きりん組共同制作
「にゅうがくおめでとう」

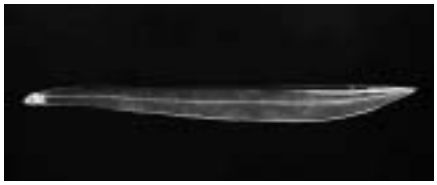
アクアワールド大洗の仲間たち

マアナゴの幼魚（アナゴ科）
Conger myriaster

この時期、大洗漁港では、マアナゴの幼魚が水揚げされています。幼魚の大きさは、約10cmほどで、写真のとおり親と似ても似つかない透明な体が特徴です。地元の漁師さんの間や、大洗市場、築地市場などでは、特別「ノレソレ」という面白い別名で親しまれている魚です。その語源は、シラス漁に混じって入り、網の上でノラリクラリしている様子からその名が付いたそうです。現在当館では、期間限定で展示しております。この機会に是非ご覧下さい。

（魚類展示課　小藤一弥）





〔入館料〕

種　別	個　人	団　体	学校特割
大　人	1,800円	1,400円	
小中学生	900円	700円	600円
幼　児	300円	250円	200円

- 料金は消費税が含まれています。
- 団体は20人以上です。
- 幼児は3歳以上です。
- 学校特割とは、保育所、幼稚園、小・中学校の学校行事として利用する場合です。

〔営業時間〕9:00～17:00

アクアワールド
茨城県大洗水族館
http://www.aquaworld-oarai.com

編集・発行●大洗町役場町長公室　〒311-1392 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町6881-275　☎029（267）5111㈹　URL http://www.town.oarai.ibaraki.jp/
印刷●富士オフセット印刷株式会社

ちきゅうにやさしい みどりをまもる
※この広報紙は、古紙配合率100％の再生紙を使用しています。